



学校だより

<家庭数> 第8号
令和2年11月28日発行
品川区立第四日野小学校
校長 島崎 一江
<http://school.cts.ne.jp/hino4/>



四日野 今年の漢字一文字

校長 島崎 一江

令和2年の師走を迎えました。皆様には、今年も多大なご支援ご協力を賜りました。昨年度末から今年度の始まりはコロナウィルスの影響でご心配をおかけしたり、ご不便をおかけしたりと誠に申し訳ございませんでした。皆様のご協力のおかげさまで、ここまで無事に12月を迎えることができました。心より感謝申し上げます。

さて、本日の学習発表会には、保護者の皆様にご来校いただきありがとうございました。各ご家庭お一人のご来場ということで、ご迷惑をおかけし申し訳ございませんでした。年度当初は、学芸会を予定しておりましたが、コロナ対策の休校などのこともあり断念いたしました。その代わりとして少しでも何かできる事は無いかと思案し、学習発表会を実施することにいたしました。ここまでの学習を見ていただくことができたらと、各学年工夫して当日を迎えました。寒い中ではございましたが、子どもたちが一生懸命発表する姿をご覧いただけましたのなら幸いです。皆様の惜しめない拍手に、練習してきた子どもたちも指導してきた教員も、大いに励まされました。本当にありがとうございました。

今年の終わりに際し、児童や教職員に『四日野 今年の漢字一文字』を募集しました。135票とたくさんの応募がありました。思わず微笑んでしまうものや「ほんとほんと」と納得してしまうものなど、それぞれにそれぞれの思いがあり感動しました。私の想像をはるかに超え、漢字は77種類となりました。悩みに悩んだ末、『四日野 今年の漢字一文字』は『家』に決定いたしました。『家』は自粛期間のこと、ステイホームのこと、家でたくさんの宿題をしたこと、家族のことなどの理由が書いてあり、まさに、今年の漢字にふさわしいと思いました。第二位は『楽』と『友』。学校に行けるようになり楽しかった、コロナで友達にも会えなかったけれど、友達に会えたときにすごくうれしかったからとありました。第三位は『一』。安全第一、健康第一、平和が第一、一から始める、心を一つになど、思いが込められていました。特別賞は『顔』です。『顔』はいつもと違うみんなのいろいろな顔があったからとありました。いつも通りに行かない生活の中でも、マスクの中に笑顔を見ることができました。温かい意味の漢字が多かったことにも、嬉しく思いました。ご応募ありがとうございました。

11月15日にケネディ宇宙センターから打ち上げられた民間初の有人宇宙船は、野口聡一飛行士ら4人が乗る新型宇宙船クルードラゴンです。その名前は『レジリエンス』。本校の教育方針に盛り込んでいる『レジリエンス』です。レジリエンスは逆境から立ち直る力のことで、新型コロナウイルスに打ち勝つ願いを込めて、この宇宙船に名付けたそうです。打ち上げは成功し、国際宇宙ステーションでこれから半年間滞在するそうです。『レジリエンス』の活躍と無事帰還を祈るとともに、私たちもレジリエンスの能力を最大限発揮させ、前を向いて、新年を迎えましょう。皆様、どうぞ、よいお年をお迎えください。